

◇ 論 文 紹 介

た資料である。山村の女性に関する民俗資料を記している。たとえば、かねつけ、夜ばい、しんがい子、月の忌、女の仕事、みずし奉公、嫁入り、嫁がき、お産、ひまや祝い、嫁の座、しゃもじ渡しなど、多様な内容である。

民俗学的に興味ある内容の一例をあげよう。秋生では、娘が十五六歳になり、妊娠すると、かねつけをして娘宿にはいり、嫁入りまで仲間として過す。その年妊娠者がなければ、新入会者はない。

つまり秋生では、夜ばい―妊娠―かねつけ―娘宿入り―嫁入りという順序になる。すると妊娠していない娘は、娘宿の仲間でないのであろうか。河原氏の報告はややあいまいである。

いずれにせよ、秋生の習俗は、普通の村と順序が異なり、注目に価する。嫁入りの日も、夫婦で「むすびの盃」を交わした後、夫婦は納戸にかくれて飯を食べ、そのあと婿さんだけが客の接待に出て、嫁は納戸で休んでいる。これも世間の村と違う。

山村の女 河原 哲郎

『奥越史料』十一号 大野市教育委員会  
河原氏が昭和三十年前後真名川上流の小沢、秋生、巢原、熊河、温見を訪れて聞き書きし

(以上

杉原丈夫)